

《 資 料 編 》

<参考資料>

1. 周南市の強み・弱み・機会・脅威の整理(SWOT分析)

強み <Strength>

(1) 交通面

国道2号を中心に、4ヵ所のインターチェンジがあり、平成26年4月時点で新幹線「のぞみ」が1日当たり15本、新幹線「さくら」が10本停車するJR徳山駅など優れたアクセスを有しています。また、大分県竹田津港を結ぶ周防灘フェリーが運航されています。

(2) 地理面

本市は、山口県の東南部に位置し、市の北部には中国山地が広がり、瀬戸内海を臨む南部の半島部や島しょ部は瀬戸内海国立公園区域にも指定される美しい景観を有しています。南部には、全国有数の石油化学コンビナートを中心とした大規模な工場が立地しており、それに接して東西に長い市街地が形成されています。

(3) 観光資源及び社会教育施設

瀬戸内海国立公園太華山、大津島、中国自然歩道に指定されている長野山緑地公園、県立自然公園黒岩峡など豊かな自然環境(自然景観)に恵まれており、特別天然記念物である八代のナベヅルが飛来する地でもあります。

また、歴史的価値を有する回天訓練基地跡や平和学習施設である回天記念館などの教育施設が充実しています。

さらに、文化会館をはじめとし、徳山動物園、美術博物館、郷土美術資料館といった文化的価値のある地域資源を有しています。

加えて、全国で工場夜景への関心が高まる中、徳山湾に広がるコンビナート群が創り出す工場夜景が集客力の高い観光資源となっており、晴海親水公園及びJR徳山駅周辺を中心にライトアップする周南冬のツリーまつりが日本夜景遺産に認定されました。

港湾部においては、徳山下松港が特定重要港湾及び国際バルク戦略港に選定されています。

(4) 商工業に関する環境

周南コンビナート地域は、基礎素材型産業が集積しており、特に苛性ソーダの生産を軸とする多種多様な化学製品を生み出す基幹産業の一つです。副生水素の発生能力はわが国有数であり、副生水素を活用した取り組みがされています。

JR徳山駅周辺には、30室以上を有するホテル等の宿泊施設及び飲食施設が集積しています。

(5) コンベンションに関すること

文化会館、各種スポーツ施設などコンベンション開催に適した施設を有しています。

■ 弱み <Weakness>

(1) 交通・宿泊等

観光地が市域に点在し、JR徳山駅から遠距離に立地するものの、二次交通の整備が不十分です。

大規模なコンベンション及びイベント開催時に、宿泊施設のキャパシティが不足しています。

集客力の高い隣県都市(広島県、福岡県)に観光客が取り込まれ、本市の観光誘客が厳しい状況にあります。

(2) 地域ブランド

市民、民間、まちづくり団体と行政が相互に連携し、官民一体となった観光事業の取り組みが不十分です。

(3) 官民協働

市民、民間、まちづくり団体と行政が相互に連携し、官民一体となった観光事業の取り組みが不十分です。

(4) 情報発信

各団体それぞれが独自に観光情報の発信を行うため、効果的な情報宣伝活動ができていません。

また、情報弱者である高齢者などに対する効果的な情報発信手段が不足しています。

■ 機会 <Opportunity>

(1) 公共機関などの取り組み

国においては観光立国推進基本計画において、国内外から選好される魅力ある観光地域づくりや、国際会議等のMICE分野の国際競争力強化などに取り組んでいます。

また、県においては、やまぐち観光推進計画のもと、観光資源・おもてなしの充実など観光力増強の取り組みが図られています。

こうした中、平成27年大河ドラマ、平成30年の明治維新150年を契機とした観光キャンペーンが実施されます。

(2) 観光に関する傾向

余暇時間の増大に伴い、レジャー・娯楽への関心が高まっています。

また、旅行者ニーズの変化に伴い、ニューツーリズムなどの体験型観光への人気が高まっています。

(3) 施設に関すること

環境学習の拠点として徳山動物園のリニューアル計画があります。

平成26年にJR徳山駅南北自由通路が開通され、平成30年には新駅ビルが開設予定です。

平成26年5月に道の駅「ソレーネ周南」がオープンしました。

(4) 情報発信

インターネット環境の普及によりホームページやSNS等のITツールが充実し、利便性が急速に向上しています。

脅威 <Threat>

(1) 少子高齢化

少子化の進展によりに伴う旅行市場の縮小が懸念されています。

中山間地域の急速な人口減少及び高齢化が進んでいます。

(2) 財政面

合併特例債の終了、普通交付税の減少、人口減少に伴う市税の減少など、行政の財政状況が一層厳しくなります。

観光施設の老朽化に伴う維持コストの増大などが予想されます。

(3) 経済面

国民可処分所得の減少などに伴う観光市場の縮小化が懸念されています。

第一次産業従事者が逡減しています。

2. 基本施策の構築

SWOT分析により、周南市の観光における“強み”“弱み”“機会”“脅威”について列挙されたものから、今後の観光の方向性を導き出し、観光振興につながる事業施策を構築していきます。

《基本的考え方》

(1) “機会”を活かして“強み”を「更なる強み」へと磨き上げる

1)「特色ある観光地づくり」

強み

- 豊かな自然環境や社会教育資源、歴史的・文化的価値の高い資源を有している
- 周南市として夜型観光を積極的に取り組んでいる

機会

- 国の観光立国推進基本計画における、地域の特性を生かした、魅力ある観光地の形成による取り組み
- 「体験型観光」のニーズの高まりなどの観光客の趣向の変化

旅行者ニーズに適応した観光に取り組み、現存する観光資源を磨き上げ、魅力的な観光地づくりに取り組みます。

2)「受入体制の充実」

強み

- ハード面における鉄道をはじめとする一次交通網の充実、JR徳山駅周辺に宿泊施設、飲食店が集積している

機会

- 世界スカウトジャンボリー、ねんりんピック等の大型コンベンションが開催される

本市を訪れて良かった、さらにはもう一度訪れたいと感じていただくため、受入体制を充実させることで、おもてなし観光の充実を図り、観光リピーターの増加を目指します。

3)「コンベンションの積極的誘致」

強み

- キリンビバレッジ周南総合スポーツセンターや文化会館等のコンベンションの開催に適した施設を有し、交通の利便性も高い

機会

- 国においてMICEの取り組みを積極的に推進している
- 周南市の重点事業のひとつとしてコンベンションシティの推進に取り組んでいる

おもてなしの充実を基本とした各種コンベンションの誘致、開催支援、アフターコンベンション強化・充実の取り組みを積極的に実施します。

4)「国際観光の推進」

強み

○アジア圏から物理的距離が近くインバウンドの取り組みに有利である

機会

○国においてMICEの取り組みを積極的に推進している

○県において外国人観光客増加に向けた国際観光の推進に関する取り組みがなされている

山口県と連携し、海外に向けた情報発信の強化を図るなど、訪日外国人誘客に取り組み、国際観光の推進を図ります。

(2)“機会”を活かして“弱み”を「強み」に変える

1)「集客力につながる連携の強化」

弱み

○官民連携及び市内外における広域的連携による取り組みが弱い

機会

○(一財)周南観光コンベンション協会が発足したことによる官民連携の強化

○県においては平成30年の明治維新150年をテーマとした全国規模での観光誘客活動

観光客数の増加を目指すため、民間及びまちづくり団体、県をはじめとする他の行政団体との広域的な連携を図ります。

2)「魅力の発見と戦略的な情報発信」

弱み

○観光に関する効果的な情報発信が充分ではない

機会

○インターネット環境の普及によりホームページやSNS等のITツールが充実し、利便性が急速に向上している

本市での観光に関する様々な取り組みを、多くの方々に情報提供できる仕組みづくりを構築し、本市の知名度向上による地域の活性化を図ります。

3. 前ビジョンの検証

(1) 前ビジョンにおいては、次のような目標を掲げております。

《都市像》……………「人と人とが交流する 豊かさと元気あふれる観光都市・周南市」

《平成26年観光客数》…… 110万人

(2) 前ビジョン策定時(平成19年)約99万4千人であった観光客数を

110万人まで増加させることを目標としました。

平成25年の観光客数は、約137万人となっております。

(3) 前ビジョンの基本施策について

前ビジョンについては、5つの基本施策を展開し、本市の観光地づくりを進めました。

1) 地域資源の開発・活用

コンビナート等の工場夜景を観光資源と位置づけ、夜型観光を推進しました。

また、コンベンションシティを推進し、各種コンベンションの誘致、受入体制の整備、アフターコンベンションの充実・強化の3つを柱に取り組みました。

さらに、大津島や瀬戸内海国立公園太華山などの地域資源のブラッシュアップ(磨き上げ)に取り組みました。

2) おもてなし観光の推進

自然、歴史、文化等の知識を活かした観光サービスを提供するボランティアガイドの育成に取り組みました。

また、外国人観光客の受入体制の整備の一環として、外国人向けパンフレット(3か国語)等を作成するとともに、国際交流サロンや国際交流フェスタを開催し、多文化共生の推進に取り組みました。

3) 観光基盤整備の推進

観光案内板の整備、JR徳山駅の南北自由通路開通やエレベータの設置などを実施しました。

4) 情報発信の強化

周南市のホームページの充実及びSNSなどITツールの活用した情報発信に取り組みました。

「ゆる旅」と題したプロモーション戦略を展開し、視認性の高いデザインのポスターやパンフレットなどを作成することで本市の認知度向上を図りました。

5) 観光メニューの充実

ボランティアガイドの豊富な知識を活用し観光ルートを開発を行いました。ボランティアガイド利用者も平成25年度では2,500名以上となっております。

また、「周南冬のツリーまつり」や「のんた祭」を始めとしたイベントの充実に取り組みました。

4. 周南市観光ビジョン策定の経過

平成26年 7月 1日	周南市観光ビジョン策定委員会設置要綱 制定
8月 4日	第1回 周南市観光ビジョン 策定委員会 開催
8月21日	第1回 周南市観光ビジョン ワーキンググループ 開催
9月10日	第2回 周南市観光ビジョン ワーキンググループ 開催
12月15日	第2回 周南市観光ビジョン 策定委員会 開催
平成27年 1月19日 ~2月18日	周南市観光ビジョン パブリックコメント実施
3月 2日	第3回 周南市観光ビジョン 策定委員会 開催
	周南市観光ビジョン策定



周南市観光ビジョン策定委員会の様子

5. アドバイザー及び周南市観光ビジョン策定委員

(1) アドバイザー

太田 正隆 (株)JTB総合研究所 MICE戦略室 主席研究員

(2) 周南市観光ビジョン策定委員会 委員名簿

区分	所属	氏名	
学識経験者	徳山工業高等専門学校	熊野 稔	会長
	徳山大学	石橋 孝明	副会長
経済団体の代表	徳山商工会議所	小林 高志	委員
	新南陽商工会議所	谷口 博文	委員
	周南料飲組合	藤麻 幸雄	委員
	株式会社JTB中国四国	大寺 宏典	委員
	(一財)周南観光コンベンション協会	伊藤 博之	委員
	西日本旅客鉄道株式会社	佐々木 敏範	委員
交通事業者の代表	防長交通株式会社	松村 喜裕	委員
	周南市	久村 信幸	委員
学識経験者	徳山大学	齊藤 由里恵	兼W.G.委員長
経済団体の代表	(一財)周南観光コンベンション協会	岡田 哲矢	兼W.G.副委員長
	(一財)周南観光コンベンション協会	佐藤 英樹	兼W.G.委員
	徳山商工会議所	近間 純栄	兼W.G.委員
	新南陽商工会議所青年部	山本 淳	兼W.G.委員
	ホテルサンルート徳山	仲西 隆宏	兼W.G.委員
	株式会社まちあい徳山	河村 啓太郎	兼W.G.委員
	芳山園	竹永 富夫	兼W.G.委員
	交通事業者の代表	株式会社JTB中国四国	諸橋 輝充
防長交通株式会社		牧 洋史	兼W.G.委員

※W.G.・・・ワーキンググループの略

6. 周南市の観光資源の一例

※観光庁の観光地点等分類表に基づき、分類しています。

■ 観光地点登録(国)^{※14} ▼ 動態調査の対象(県)^{※15} ● その他

大分類	中分類	小分類	周南市の素材	
観光地点	自然	山岳	▼ 瀬戸内海国立公園太華山、千石岳、長野山緑地公園	
		河川	■ 高瀬峡及び高瀬湖、石城山県立自然公園黒岩峡 ● 東川、富田川、夜市川、島田川	
		島 離島	● 大津島	
		その他自然	■ 豊鹿里パーク(クラインガルデン) ● 棚田(市内各所) ▼ 八代のナベツル、大田原自然の家	
	歴史・文化	史跡	史跡	▼ 若山城跡 ● 回天関連施設(基地跡、トンネル等)、毛利家墓所、陣屋跡(徳山藩館邸跡)、潮音洞、勝栄寺土塁、山崎隊士の墓(富田護国神社)、福川本陣跡
			神社・仏閣	■ 川崎観音 ▼ 漢陽寺 ● 児玉神社、祐綏神社、建咲院、勝栄寺、二所山田神社、龍雲禅寺、熊毛神社、兼子様(御堂)、遠石八幡宮、山崎八幡宮
		庭園	● 曲水の庭(漢陽寺内)	
		歴史的まち並み、旧街道	● 旧山陽道、昭和の街並み(鹿野)	
		美術館	■ 美術博物館 ● 郷土美術資料館・尾崎正章記念館	
		記念・資料館	■ 回天記念館 ● 鶴いこいの里交流センター	
		動・植物園	■ 徳山動物園	
		産業観光	▼ 鹿野高齢者生産活動センター(手漉き和紙体験) ● 須金和紙センター、工場夜景ツアー(船、バス、タクシー)	
		歴史的建造物	● 菅野ダム、川上ダム、高瀬ダム、工場群(夜景)、市長公舎、旧日下医院、山田家本屋、徳修館	
		その他歴史	● 遥拝石、岩崎想左衛門重友像、寺嶋忠三郎の碑、飯田忠彦の碑、徳山七士碑、大坂城築城残石	
	温泉・健康	温泉地	■ 湯野温泉、三丘温泉、石船温泉 ● 湯野足湯	

※14 観光地点登録(国)・・・国が観光客の動向を把握するため実施する「観光客入込調査」において、観光地点を自然、文化・歴史などに分類し調査対象として登録した観光地点

※15 動態調査の対象(県)・・・県が観光客の動向を把握するため実施する「観光客動態調査」において、調査対象とした地点及び行事

※観光庁の観光地点等分類表に基づき、分類しています。

■ 観光地点登録(国) ▼ 動態調査の対象(県) ● その他

大分類	中分類	小分類	周南市の素材
観光地点	スポーツ・レクリエーション	スポーツ・レクリエーション施設	■ ゴルフ場 ● サン・サンロード(湯野)、高瀬サン・スポーツランド
		キャンプ場	▼ キャンプ場(市内各所)
		マリーナ・ヨットハーバー	● シーホース(海の駅)、長田フィッシャリーナ
		公園	■ 長田海浜公園、永源山公園 ● 晴海親水公園(夜景遺産)、周南緑地公園「万葉の森」、東繕寺川河川公園(熊毛)、天神山公園(鹿野)
	都市型観光 買物・食等	その他スポーツ・レクリエーション	■ 観光農園、鹿野ファミリーランド ● 海の郷(大津島)
		食・グルメ	● ふぐ料理店、農家レストラン、カフェ
		その他都市型観光(買物・食等)	● ふるさと産品の店・こあ、浜のえび店
その他	他に分類されない観光地点	■ 道の駅「ソレーネ周南」 ● ゆめ風車通り(新南陽)、清流通り(鹿野)	
行祭事・イベント	行祭事・イベント	行・祭事	■ 徳山夏まつり、花☆ワイン周南まんま市場、周南冬のツリーまつり、サンフェスタしんなんよう、かのふるさとまつり、周南ふるさとふれあい物産展、周南萌えサミット、YOSAKOIぶち楽市民祭、こどもっちゃ商店街 ▼ THE夏祭り(八代)、三丘温泉さくらまつり、 ● 永源山つつじまつり、永源山ゆめ風車まつり、ほたる祭り(市内各所)
		花見	● 芝桜(大道理)、桜(市内各所)
		花火大会	■ かの冬花火 ● サンフェスタしんなんよう ゆめ花火
		郷土芸能	● 三作神楽
		地域風俗	▼ 天神祭り(鹿野)、貴船神社夏祭り(杵島) ● 山崎八幡宮「本山神事」(新南陽)
		映画祭	● 周南映画祭
	他に分類されない行祭事・イベント	■ 文化会館 ● キリンビバレッジ周南総合スポーツセンター、津田恒実メモリアルスタジアム、陸上競技場、永源山公園プール、熊毛総合射撃場	

7. 周南市ゆかりの人物(抜粋)

林 忠彦 (1918～1990年)

写真家。「カストリ時代」「文士シリーズ」で注目を集め、また写真文化の発展にも力を尽くした。

まど・みちお (1909～2014年)

詩人。童謡「ぞうさん」「一ねんせいになったら」などを作詩。その作品は多くの人に愛されている。

児玉 源太郎 (1852～1906年)

軍人、政治家。台湾総督、陸軍大臣を歴任する一方、私財を投じ郷土に私設図書館「児玉文庫」を開設した。

弘中 又一 (1873～1938年)

教育者。愛媛県松山で夏目漱石とともに教鞭をとり、小説「坊っちゃん」のモデルになったと言われる。

津田 恒美 (1960～1993年)

プロ野球選手。広島東洋カープのクローザーとして、得意の速球を武器に打者に真っ向から立ち向かう姿は「炎のストッパー」と称された。
(選手登録名は「津田恒実」)